

土瓶古川工場

幹事

長谷川、森貴、近藤、山瀬、西川、劉龍、(以

大森式十次(印南工場)

監會員

藤本喜美一(土瓶古川工場)

會員

山口、木末(土瓶古川工場)

答へ式へ並り

限を委員會に開辦せし出部津森六十名を對員懇摺し結果當選せし
藤本喜美一、日手工手聯合總務會を八二十日午前六時を以て聯合津森

總務會

大五十三平四月十三日

日手工手聯合

以下並高の安室を限す。

日管の聯合は、並に「並」五當なる幾個聯合の聯合を善き圖り
るべき言を對式を吾人の事實なる懸念し、並に「懸念」する懸念の平
夫は並業の並並に投資開辦し、亦て投資開辦の懸念する懸念し、

財團法人協調會大阪支所

幹事

西山、長井、松澤、出島、小田、高見(以上印南

工場)

會計及書記

前田(加古川工場) 西川(印南工場)

會計監督

磯野右市

組合ノ加入者約三千名(會社側ノ話) 約四千名位(職工側ノ
話)デアル

會社側ハ之ヲ探知シテ二十三日午後八時頃内容證明郵便ヲ以テ以
上ノ組合役員十七名ニ對シ夫々左ノ解雇通知書ヲ發送シタ、

記

今般都合ニ依リ解雇ス

但シ手當ハ一ヶ月ニ對シ二日分ヲ支給ス

右支給額ハ六ヶ月以上ノ勤續者ニ限ル

日本毛織株式會社加古川、印南工場

此ノ解雇通知ニ接シタル十七名ノ職工ハ藤本喜美一以下六名ヲ代